

有機農業と参加型保証システム

Organic Agriculture and Participatory Guarantee Systems (PGS)

国際有機農業運動連盟（IFOAM）は、認証制度も含めて、有機農業には多様性があると認識している。参加型保証システム（PGS）は、ISO 認証のような第三者認証ではなく、それに代替する、または補完的な有機保証のしくみである。

世界的にみても、何千人もの有機農家が PGS の取組みにより認証されている。先駆的な有機農家が導きとした有機農業の同じ理念から発展して、PGS は信頼性の高い保証を有機農産物に与えるだけでなく、地域（ローカル）や一般流通市場とは異なるオルタナティブな場づくりとも強くつながっている。それぞれの PGS の取組みでは、方法論や手順は異なっている、その要素や特徴において、IFOAM の「ビジョンと理念の共有」文書が一つの共通のプラットフォームとなっており、世界的に共通するものが貫かれている。

PGS は、地域に焦点を当てた品質保証システムである。それは、信頼、社会的なネットワーク、知識の交換、生消交流の基盤の上に、消費者の積極的な参加活動に基づいて、生産者（農場）の認証をする。

IFOAM・PGS 委員会により承認された PGS の取組みは IFOAM の PGS ロゴを利用できる。ロゴの目的は世界中の PGS 取組みに対し、IFOAM の傘下で一定の方法や手続きを持っているという一体感を与えることである。

PGS の要素と特徴 ※原文は図示されている。なお、ここでは基本文書を踏まえ、番号を付した。

PGS の要素 (Key Elements)

- ①共通ビジョンの共有、②参加型、③透明性、④信頼=尊敬に基づくアプローチ、⑤永続的な学習過程、⑥対等性

PGS の特徴 (Features of PGS)

- ①基準・規則は、民主的 PGS の過程を経て関係者によりつくられるものである、②草の根組織、③小規模農業にふさわしい、④原理と価値は、農家の生活と福祉を高める、⑤文書管理のシステムと手続きを定めている、⑥基準・規則を農家が順守していることを検証するメカニズムである、⑦農家を支えるしくみである、⑧基準・規則に同意することを示す「農家の宣誓」を行っている、⑨有機であることの証明となるシール・ラベル表示を行える、⑩基準を順守しない農家に対する規定をもつ。

地域の力、知恵、地域経済の発展を強める

関係者が積極的に参加することにより、PGS では彼らの権限と責任を強める。PGS では、生産者だけでなく消費者の知識・能力開発を重視する。人と人の直接的な関係に基づいており、内発的発展力も持つので、消費者と生産者の直接的で距離の短い市場の構築を助ける。

認証制度を超えるもの

PGS は、有機農産物を求める消費者に信頼性の高い保証を与える点で、第三者認証制度と目的は同じである。両者の違いはアプローチの違いによる—PGS では、農家及び消費者が認証過程に直接参加することが奨められるだけでなく、むしろ要請される。PGS が使われる小規模農場や地域の直接取引においてこそ、このような直接的参加はまさに実現可能である。参加に関わるコストは低く、たいいては経済的な負担であるというよりボランティア活動となる。さらに、PGS の取組みでは文書作成・記録保持を簡素化できるので、小規模農家の手に届くものとなる。



※ IFOAM のウェブサイト (www.ifoam.org) の PGS のページから入手できる。